

Doc. No.: NR060317

2006年3月17日

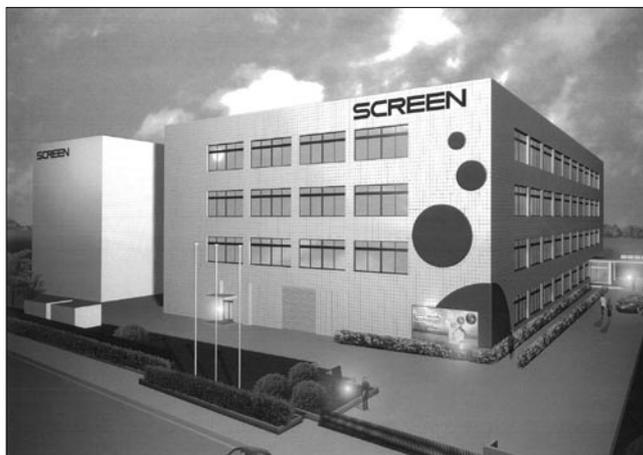
グループ最大の開発拠点「ホワイトキャンバス洛西」を開設 ～技術開発機能を集結し、総合力を強化～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区／社長：橋本 正博)はこのほど、グループの開発体制の強化を目指し、技術開発機能を集結した拠点「ホワイトキャンバス洛西」を開設。4月1日から業務を開始します。

「ひらめいたアイデアを自由に描き、新たな技術や産業を創造したい」という願いを込めて「ホワイトキャンバス洛西」と名付けられたこの施設は、約8億円の総工費を掛け、各地に存在していた技術開発の拠点を当社洛西事業所に集約。開発資源を統合するとともに技術者の開発環境を一新し、グループ最大の開発拠点として総合技術力の向上を図ります。同時に、当社創業以来の企業姿勢である“技術経営”をさらに強化し、顧客のニーズを先取りする技術開発の実現を目指します。

立地の選定に当たっては、多くの地元協力企業の存在、産官学による連携への期待、さらに地元自治体(京都府、京都市)による誘致や諸制度を活用した支援施策などにより、京都市伏見区にある洛西事業所での開設を決定。創造型産業が集結する京都南部・高度集積地区に隣接する立地を生かし、周辺地域のさまざまな先端産業・情報関連企業や研究機関との連携およびシナジー効果を期待できます。また、当社のコア技術を基に発展した各要素技術を厳選し公開することにより、企業や産業など従来の枠を超えた技術交流を促進。その相乗効果により、新技術・新事業を創出し発信する役割を担う“融合センター”を目指します。さらに、快適なコミュニケーション環境を提供するため、大ホールや多目的空間などを併設しており、国内外の大学、研究機関、他企業、顧客との連携推進など、国際化や産官学連携の場としても最大限に活用でき、技術の交流、発信、教育など、さまざまな目的を実現できる施設となっています。

当社は、今回開設した「ホワイトキャンバス洛西」を技術開発のランドマークとして位置付けるとともに、周辺地域との調和・交流を図り、当社技術のさらなる発展、そして社会への貢献を目指します。



ホワイトキャンバス洛西(完成イメージ図)

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目

<ホワイトキャンパス洛西の概要>

所在地：京都市伏見区羽東師古川町322番地

敷地面積：約10,100平方メートル

延床面積：約20,100平方メートル

構造：第1棟 鉄骨鉄筋コンクリート造 4階建

第2棟 鉄骨鉄筋コンクリート造 5階建

総工費：約8億円

従業員数：約500人

- 主な業務：
- ・ 画像情報処理機器（製版関連機器、デジタル印刷機など）、電子工業用機器（半導体製造装置、フラットパネルディスプレイ製造装置、プリント配線板製造装置など）の技術開発
 - ・ 新事業の創出
（情報通信、バイオテクノロジー、医療福祉、環境エネルギーをはじめとする各分野）
 - ・ 産官学連携に関する技術開発